

# 国内IGF活動組織化に向けた、活発化チームにおける合意形成について

2022/05/09 前村

## はじめに

現在活発化チームで検討している組織化に関して、法人設立は、法人の主要会員なる設立発起グループが主体となって、設立発起人や会員となる団体・企業の参集状況に応じた法人の機構設計を行う必要がある。従って、活発化チームで検討し、合意に至った内容は、新たな法人で国内IGF活動を展開していく上での大方針として設立発起グループに申し渡され、法人の設立発起にも参加する活発化チームメンバーを通じて方針の実装を叶えると言った性質となる。

この文書では、法人設立に向けた活発化チームが申し渡し事項として何を合意形成するかを明確にすることを目的としている。

## 現在までの組織化議論で取り扱ったドキュメント

- 「一般社団法人みんなのインターネット(仮称)」設立趣意書案  
<https://docs.google.com/document/d/1F8oZCBtPFocAH7U5q7QltEpTpu6UoN-ajrQLPpJEjG8/edit?usp=sharing>
  - 新たな法人の使命や活動方針を明確化するものとして、活発化チームでテキストに合意し、設立発起グループにはエディトリアルな修正によって設立趣意書として採択することを要請するということがか。
- 国内のインターネットガバナンス 関連活動の組織化案 rev2  
<https://docs.google.com/document/d/17Dbc0MCwBnsYbewQi1cqelKytrj9bEiLHTLIEURVYUw/edit?usp=sharing>
  - 組織化に関するさまざまな事項がたたき台として記述され、意見が寄せられているが、設立に賛同者や会員企業・団体の参集状況に応じて具体的な設立容態の在り方は多岐にわたることが考えられ、設立の主体となる設立発起グループに委ねられるべきである。
  - 但し、活発化チームとして法人に求める重要な要素はいくつかあり得る。この重要な要素に関して、申し渡し事項として取りまとめ、活発化チームとして合意に至らしめるということがか。
- 一般社団法人定款案.-am0414  
<https://docs.google.com/document/d/1yw1WxkdeHMR8VQZP0Tk3nwmOGv-WION3/edit?usp=sharing&oid=110691220892899363433&rtpof=true&sd=true>

- 定款の具体的なイメージとしてたたき台を示したが、法人設立の主体である設立発起グループに委ねられるべきである。今後定款案に関する直接的な議論は行わないということではいかがか。

## 今後のスケジュール(案)

上記の方針検討	5/9
活発化チームによる設立趣意書案・申し渡し事項の議論	5/30
設立発起人の調整(働きかけ、社内稟議)	6月中
定款案ほか最終的な準備内容を活発化チーム会合で了承	7/11
その他法人設立のための準備	7月中
法人設立	8月から可能?

### 【参考】前回お示したスケジュール案

上記の基本方針の確認	4/18、5/9
定款案と関連文書の準備・作成	5/30
設立発起人の調整(働きかけ、社内稟議)	6月中
定款案ほか最終的な準備内容を活発化チーム会合で了承	7/11
その他法人設立のための準備	7月中
法人設立	8月から可能?